

暮らしに役立つ!

# 火災発生時の対応方法

## 発見

火災を見つけたら、すぐに大きな声でさけび、周りの人に知らせましょう。



## 通報

電話で119番(消防)に通報しましょう。

### ● 通報で必要な内容

火事か救急か ▶ 住所はどこか ▶ 何が(誰が)どうなっているか ▶ 自分の名前は電話番号は

#### 119番通報の例



#### 落ち着いて電話しよう

指令管制員は、正確な住所を確認すると、電話の中でも消防隊や救急隊を出動させます。  
あわてることなく、落ち着いてはっきりと答えてください。

#### 豆知識 公衆電話の使い方

公衆電話は、受話器を持ち上げ、硬貨やテレホンカードを入れ、電話番号を押すと使えます。119番や110番など緊急の場合には、**硬貨やテレホンカードが無くてもつながります**。  
その場合、受話器を持ち上げ、赤い「緊急通報ボタン」を押してから119番します。赤いボタンが無い場合は受話器を持ち上げ、そのまま119番します。



## 初期消火

素早い消火が、火災の被害を小さくします。



## 避難

### 避難の方法

- 手で口と鼻を覆い、煙を直接吸わないようにします。
- できるだけ低い姿勢をとり、床すれすれに残っている空気を吸うようにします。
- 「鼻から吸って口から吐く」の呼吸を繰り返します。
- 煙で前が見えない場合は、壁に手を当て方向を確認しながら、避難してください。
- 避難するときは、可能であれば燃えている部屋のドアを閉めて逃げましょう。
- 誘導灯(5ページ)がある場合は、その方向へ避難しましょう。



タオルやハンカチがあればなお良い。



煙は一時的に上に溜まります。

### 煙の性質

煙は天井などに一時に溜まり、そこから徐々に下に降りてきます。有毒ガスを含んでいるため煙を吸うと体が動かなくなったり、死につながることもあり大変危険です。  
煙の進む速さは、上昇する時で毎秒3~5m(かけ足の速さ)、横への広がりは毎秒0.5~1m(歩く速さ)です。



### ● 避難時の心得

#### 1. 日頃から避難口を確保しましょう

避難方法は日頃から2つ以上決めておき、安全に避難できるようにしておきましょう。マンション等でベランダに仕切板がある場合は、壊して逃げましょう。また、日頃から救助袋等の避難器具(5ページ)の位置を確認し、出口には物を置かないようにしましょう。



#### 2. 消火をあきらめて避難するタイミング

ひとつの目安としては、炎が天井に達したときですが、その前でも煙がひどい場合は、危険ですので一刻も早く避難してください。

#### 3. いったん避難したらもどらない

大事な物を忘れたからといって、いったん避難したら絶対に中へもどってはいけません。

火災や地震のときはエレベーターを使わず階段で避難してください



札幌市公式ホームページでも確認してみよう!

札幌市 もしも火災が起きたら 検索 | 検索